



第12回ダナン都市開発フォーラムを開催しました。 ベトナム・ダナン市へ横浜発都市ソリューションを提案！

横浜市は都市づくりの経験・ノウハウと企業の技術を活用し、新興国等の都市課題解決の支援と企業の海外展開支援を目的とした「横浜の資源・技術を活用した公民連携による国際技術協力（Y-PORT事業）」に取り組んでいます。

行い、ダナン市からは都市課題や計画の共有、横浜市や市内企業等からは横浜発都市ソリューションの提案等を行い、各提案の実現に向けて今後の進め方を協議しました。

1. 第12回ダナン都市開発フォーラムの開催

横浜市は2013年にダナン市と技術協力に関する覚書を交わして以来、技術協力の一環として毎年都市開発フォーラムを開催しています。2024年1月の第12回ダナン都市開発フォーラムは、4年ぶりにダナン市での開催となりました。

第12回ダナン都市開発フォーラムの概要

日程：2024年1月15日(月)：テーマ別分科会
16日(火)：ビジネスマッチング、本会議
17日(水)：視察

場所：ダナン市役所、各視察現場

<参加者数>

ダナン市側：約30名（ダナン市人民委員会、計画投資局、工業団地管理委員会、天然資源環境局、商工局(ほか)）

横浜市側：64名（横浜市、YUSA、企業、JICA、OECC、横浜国立大学、在ダナン日本国総領事館、世界銀行(WB)、アジア開発銀行(ADB)、国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP)(ほか)）

2. 分科会

ダナン市との重点協力分野に沿って、**エコ工業団地、廃棄物管理、スマートシティ開発、SDGs/VLR(自発的自治体レビュー)**の4分科会を



横浜市資源循環局からの廃棄物分別促進事業の共有

3. ビジネスマッチングセミナー

(一社)Yokohama Urban Solution Alliance (YUSA)と環境省 JPRSI(環境インフラ海外展開プラットフォーム)、Da Nang YBA(Young Business Association)が共催し、横浜市内企業等7社が技術紹介を行いました。質疑が予定時間を大幅に超過するほど、ダナン側より多くの関心が寄せられました。



対面で50名程度、オンラインで100名以上が参加

4. 本会議

本会議は、ダナン市人民委員会副委員長、横浜市国際局長、在ダナン日本国総領事のご挨拶から始まり、国際機関 WB、ADB、UNESCAP からのご講演いただきました。両市から前日の分科会で議論した内容をダナン市副委員長に提案するとともに、VLR 策定支援等今後の協力を確認しました。



在ダナン日本国総領事による挨拶



UNESCAP はダナン市の VLR 策定支援を表明

<市内企業等によるダナン市へのソリューション提案事例>

法改正を受けた廃棄物管理の改善に向けた政策提言
工業団地での炭素管理システムと脱炭素技術の導入
ダナン工科大学等と連携した水質改善装置の実証事業の拡大
交通量計測システム及び信号制御システムによる交通改善
下水処理場における高効率プロアの実証事業
洪水対策による都市の強靱化と JICA プロジェクト形成に係る提言

5. ダナン市重点事業予定地の現場視察

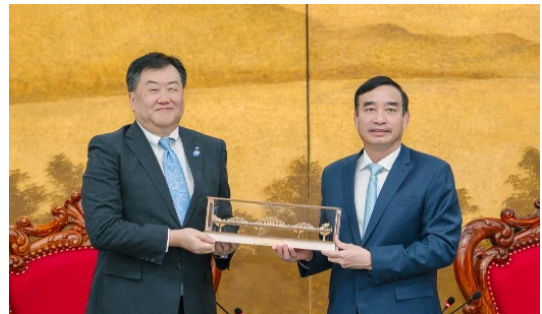
ダナン駅移転、リエンチュウ港整備、廃棄物管理関連施設の現場視察を行い、ダナン市の各担当部署からプロジェクトの進捗等について説明いただきました。



昨年新設された廃棄物の中間処理施設

6. 表敬訪問

ダナン市チン人民委員会委員長より環境に配慮した都市開発への横浜市の知見の共有など技術協力の要請がありました。横浜市国際局長からは、市内企業等の技術の活用による脱炭素化の推進やアジア・スマートシティ会議等でのダナン市の先進的な取組発信の提案を行いました。また、横浜市内企業等 4 社からのダナン市へ技術紹介を行いました。



ダナン市から贈呈されたドラゴン橋模型が二都市を橋渡し

7. さいごに

今後もダナン市はじめ海外都市、国際機関と連携を深め、Y-PORT 事業を推進していきます。本号の内容や海外でのインフラビジネスにご関心のある企業の皆様は、ぜひご連絡ください。

<お問合せ先>

横浜市国際局国際協力課
〒231-0005 横浜市中区本町 6 丁目
50 番地の 10 市庁舎 31 階
Tel: 045-671-4703 Fax: 045-664-7145
E-mail: ki-yport@city.yokohama.jp